

第7回 岐阜県鳥獣被害対策本部員会議

平成25年10月25日(金)15:00~
4F特別会議室

1 鳥獣被害対策推進月間について

★スローガン 「集落の絆で防ごう 鳥獣被害！」

(1) 平成25年度鳥獣被害対策フォーラム

参加
予定
350名

- ◆日時：平成25年11月13日（水） 13：15～16：30
- ◆場所：わかくさプラザ 中央公民館多目的ホール（関市）

◎講演 1 岐阜大学における研究成果 2 獣害に負けない集落づくり	岐阜大学野生動物管理学研究センター 鳥獣対策研究部門 角田 准教授 森部 助教 NPO法人メタセコイアの森の仲間たち 興膳 代表理事
◎県内の取組事例	関市洞戸地区、下呂市（カワウ対策）
◎鳥獣被害対策を通じた集落再生	県農政部農村振興課 鳥獣害対策監

- 鳥獣被害対策に関する資材展示（環境生活部、農政部、林政部、全農岐阜）
- 鳥獣被害相談

(2) 各地域における主な取組

啓発・広報活動

<農業者、一般市民向け>

イベント等	日程	地域	実施主体
◎岐阜大学フェア2013	11月1日	全域	岐阜大学
◎可茂地域鳥獣被害対策研修会	11月5日	中濃	可茂地域対策本部
◎平成25年度鳥獣被害対策フォーラム	11月13日	全域	県(農政部)
◎地域ぐるみで取り組む鳥獣被害対策に関する研修会	11月13日	全域	県(環境生活部)
◎川上地区鳥獣被害対策現地検討会	11月15日	恵那	中津川市
◎揖斐川町鳥獣対策研修会	11月上旬	揖斐	県(農政部)、 揖斐川町
◎富之保地区鳥獣被害対策現地研修会	11月中旬	中濃	関市
◎農地イキイキ再生週間	11月	全域	県(農政部)
◎飛騨地域鳥獣被害防止フォーラム	12月上旬	飛騨	飛騨地域対策本部

防護柵の設置研修等

<農業者向け>

イベント等	日程	地域	実施主体
◎鳥獣害防護柵設置研修会	10月31日	中濃	中濃地域対策本部
◎鳥獣被害防止現地対策研修会	11月中旬	岐阜	県(農政部)、 各務原市
◎鳥獣害防護柵設置研修会	11月中旬	西濃	養老町、垂井町
◎下呂市鳥獣害対策研修会	11月中旬	飛騨	下呂市
◎鳥獣被害防止現地対策研修会	11月下旬	岐阜	県(農政部)、 岐阜市、山県市
◎鳥獣被害防止現地対策研修会	11月下旬	岐阜	山県市対策協議会

捕獲の推進

<狩猟者向け>

イベント等	日程	地域	実施主体
◎狩猟事故防止研修会	11月6日	岐阜	山県市猟友会
◎狩猟免許試験(わな免許)	11月8日	揖斐	県(環境生活部)
◎狩猟解禁日安全見回り	11月15日	全域	県(環境生活部)

2 獣肉の利活用促進について

(1) 衛生ガイドラインの概要

別紙参照

(2) 衛生ガイドライン策定後の取組

● ガイドラインの普及に向けた説明会の開催

対象：食肉処理業者、飲食店業者、狩猟者、等(11月上中旬)

● 処理加工技術講習会の開催

衛生ガイドラインに基づく処理加工技術を普及(12月)

● 処理加工施設の整備 (獣肉処理流通モデル事業費補助金(9補))

衛生ガイドラインに準拠した施設の整備(1月～)

● 県産ジビエのPR

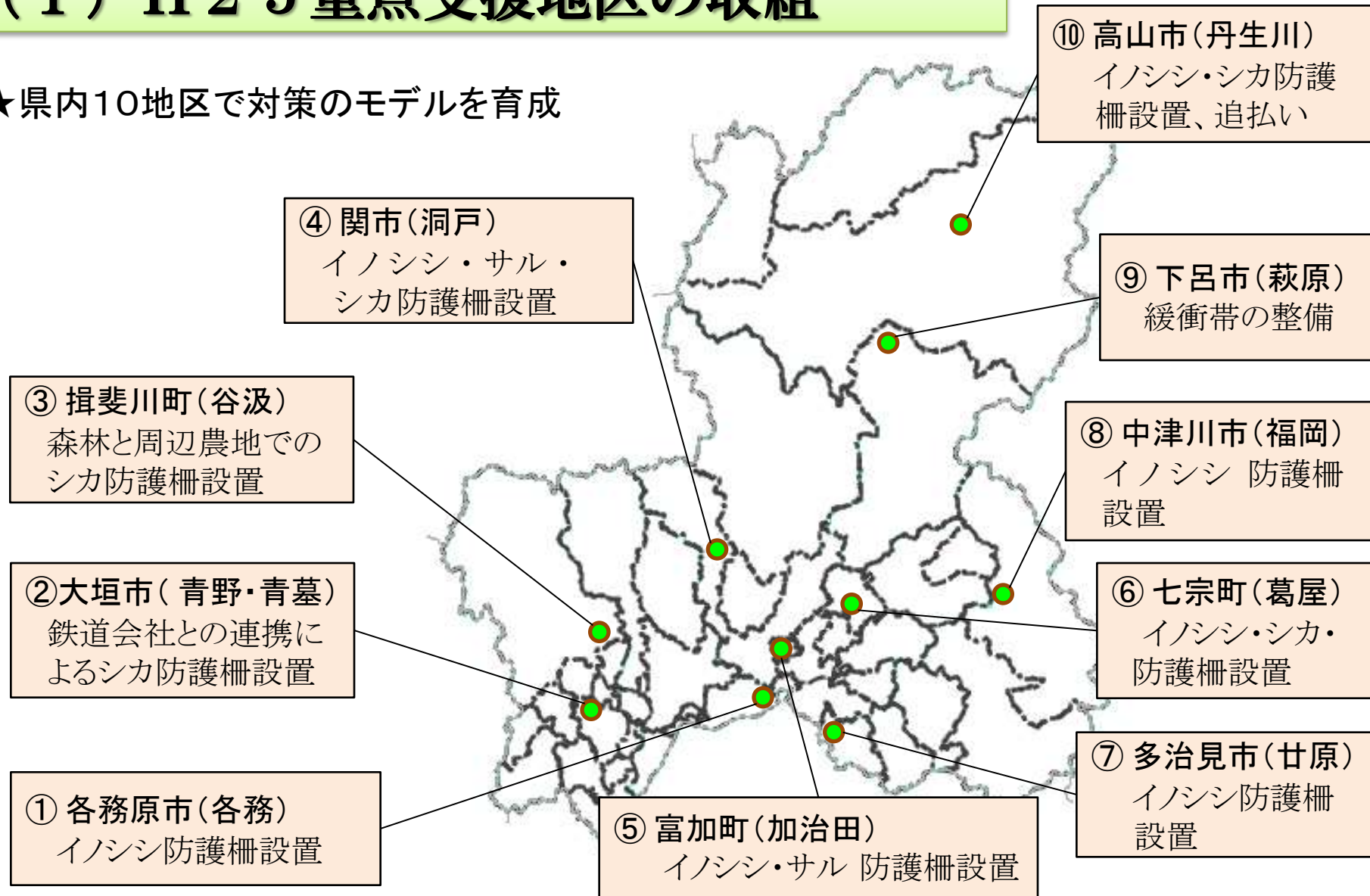
<事業者向け> レストランでのジビエフェア(2月、2店舗)、料理メニュー開発(2月、2店舗)

<消費者向け> 料理教室の開催(2月、1回)、イベントでのPR

3 今年度の対策の進捗状況について

(1) H25重点支援地区の取組

★県内10地区で対策のモデルを育成



多治見市 <イノシシ・シカ対策>

集落ぐるみによる
猪鹿鳥無猿柵の設置

★猪鹿鳥無猿柵の設置 170m
(H25. 8. 21 参加者31名)



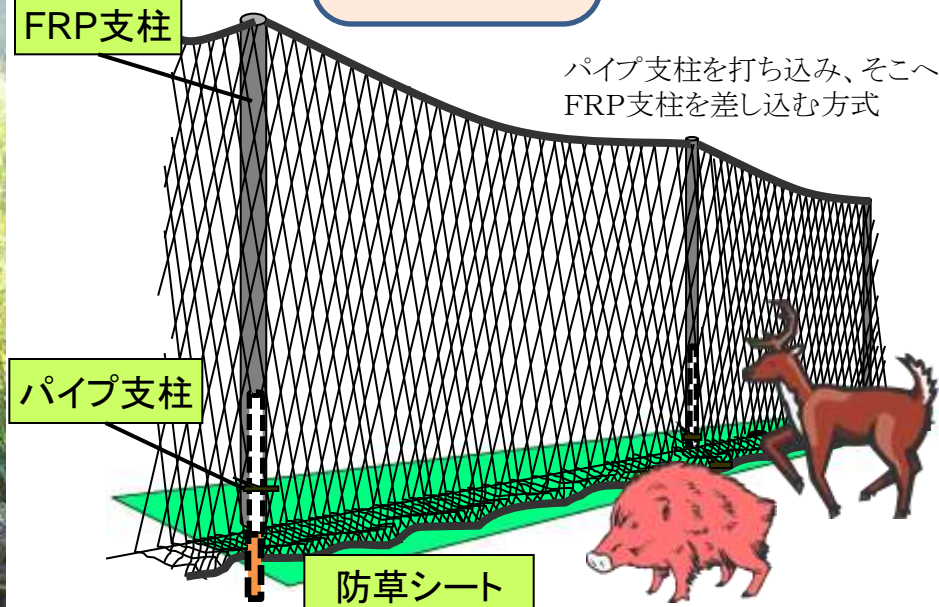
柵の概要図

FRP支柱

パイプ支柱

防草シート

パイプ支柱を打ち込み、そこへFRP支柱を差し込む方式



谷汲県営林及び周辺農地における 猪鹿鳥無猿柵の設置

- ◆ 昭和32年の全国植樹祭において天皇皇后両陛下がお手植えされたスギなど、谷汲県営林の樹木について、シカ等による被害から守るための対策を行う。
- ◆ 併せて、周辺農地において、猪鹿鳥無猿柵によるシカの防護対策を実施

谷汲県営林

県営林内の猪鹿鳥無猿柵
(L=900m) ※設置工事中

道の駅
「夢さんさん谷汲」

県道 山東本巣線

周辺農地(長瀬地区)の猪鹿鳥無猿柵(L=480m) ※11月予定



県営林での設置の様子

(2) 各地域における取組

<イノシシ・サル対策>

富加町



★侵入経路等の調査
(H25. 5. 24、参加者10名)

絆ベスト … 350着以上普及

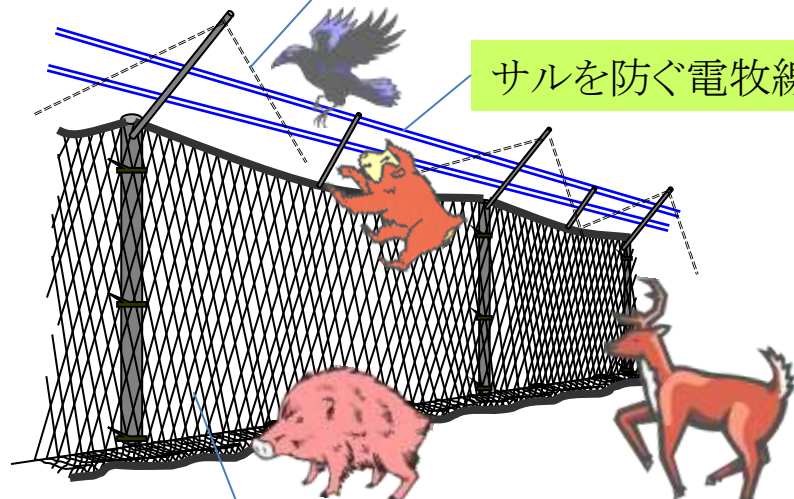


猪鹿鳥無猿隊の
「絆ポロシャツ」も
活躍しています。

猪鹿鳥無猿柵

カラスを防ぐテグス

サルを防ぐ電牧線



イノシシ、シカをを防ぐネット

郡上市



◆農業委員による研修会
(H25. 8. 2、参加者132名)

大野町

<カラス 対策>

★室内研修会

(H25. 9. 10、参加者35名)



稲刈り後の水田に現れたカラス

★ロケット花火の実演講習

ロケット花火
(退散鳥獣) ...300個以上活用



(3) カワウ対策 (調査捕獲)

下呂市
(岩屋ダム湖)



★ねぐらからの飛散を防ぎつつ、
確実にしとめる手法として、
シャープシューティングによる
捕獲を実施



ねぐらの事前調査



専門家による空気銃での捕獲



捕獲したカワウの測定

【取組結果(中間報告)】

(1) シャープシューティングによる捕獲

捕獲羽数	残存羽数
300羽	約100羽

※実施日: 6/14~7/26(計8回)

※従事射手: 2名

※成鳥を優先的に捕獲し必要に応じ巣立った幼鳥も捕獲

(2) 生態等の調査

- 捕獲前におけるねぐらの調査(6/5)
- 捕獲したカワウの体長、胃内容物等の調査



効果的な駆除に向けた実施計画を策定(H26)

(4) 地域と連携した新たな捕獲体制の確立(モデル事業)

◆NPO法人メタセコイアの森の仲間たち(郡上市八幡町)

郡上市

○より速やかで効率的な捕獲技術の普及

- ・分解・組み立て式捕獲檻を地域で活用し、捕獲数の増を目指す

○将来的に個体数調整の担い手となる人材を育成

- ・9月～2月 地域住民を対象として研修の実施
- ・12月～2月 捕獲技術の向上、専門的捕獲集団を目指しての研鑽



◆所産業(株)(揖斐郡揖斐川町谷汲長瀬 土木建設業)

揖斐川町

○地域密着企業による捕獲体制の構築

- ・所産業の従業員及び地域住民により8人の捕獲隊を結成(8人のうち4人が狩猟免許所持者)
- ・9月～2月 技術研修会(くくりわな研修)
- ・9月～11月 谷汲地内6地区において地域説明会
- ・11月～3月 くくりわなによる捕獲実施

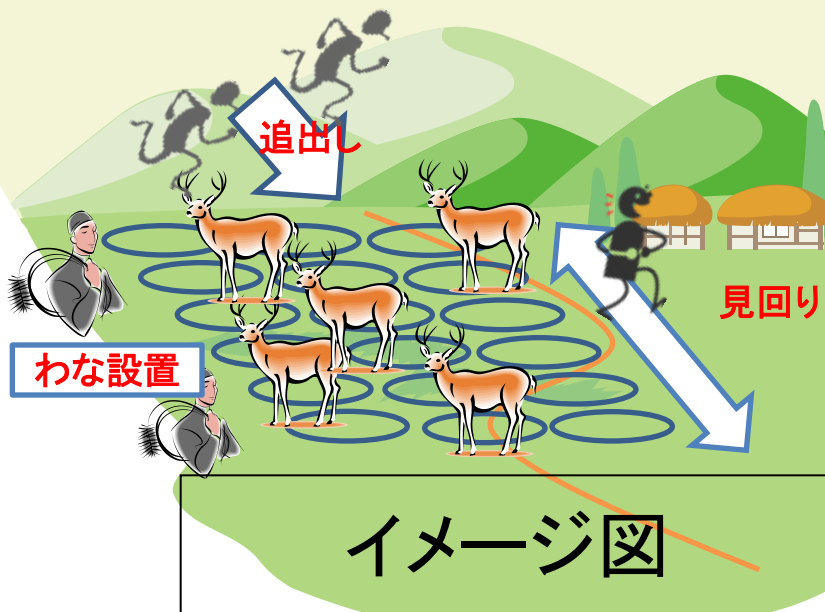


(5) ニホンジカの捕獲強化策の検討

◆わなによる大量捕獲体制の構築

(平成26年度導入に向けて検討中)

- ・ 外部から講師を招き、わなの技術向上のための講習会を開催
- ・ 重点地区を設定し、上記講習会の受講者がリーダーとなり、わな捕獲を実施



ニホンジカの多い地区において、免許所持者がくくりわなを大量に仕掛ける。

地域住民が協力して、ニホンジカ等の追い出しに協力したり、見回りを行うなど地域が連携して捕獲を推進する。

(6) 岐阜大学寄附研究部門における活動状況

岐阜大学・野生動物管理学研究センター鳥獣対策研究部門

平成25年度の研究内容

○ 平成24年度からの継続

- ・ 捕獲イノシシの収集
- ・ イノシシから採取された遺伝子解析
- ・ 平成24年度アンケート結果の解析と平成25年度アンケート調査

○ 平成25年度からの新規

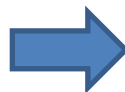
- ・ ニホンジカの分布データ可視化
- ・ 効率的な捕獲方法の試行
- ・ シカによる森林被害調査手法に関する研究
- ・ 地域ぐるみの被害対策支援と防除手法の検証・指導

ニホンジカの分布データ可視化

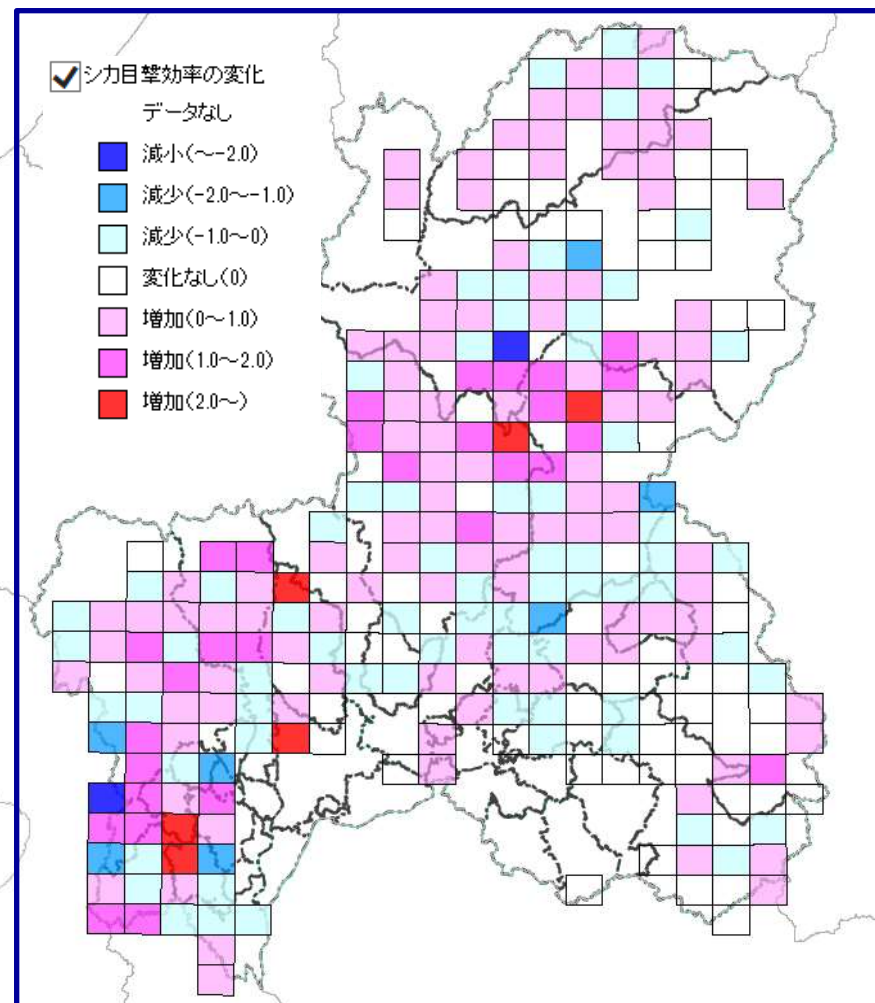
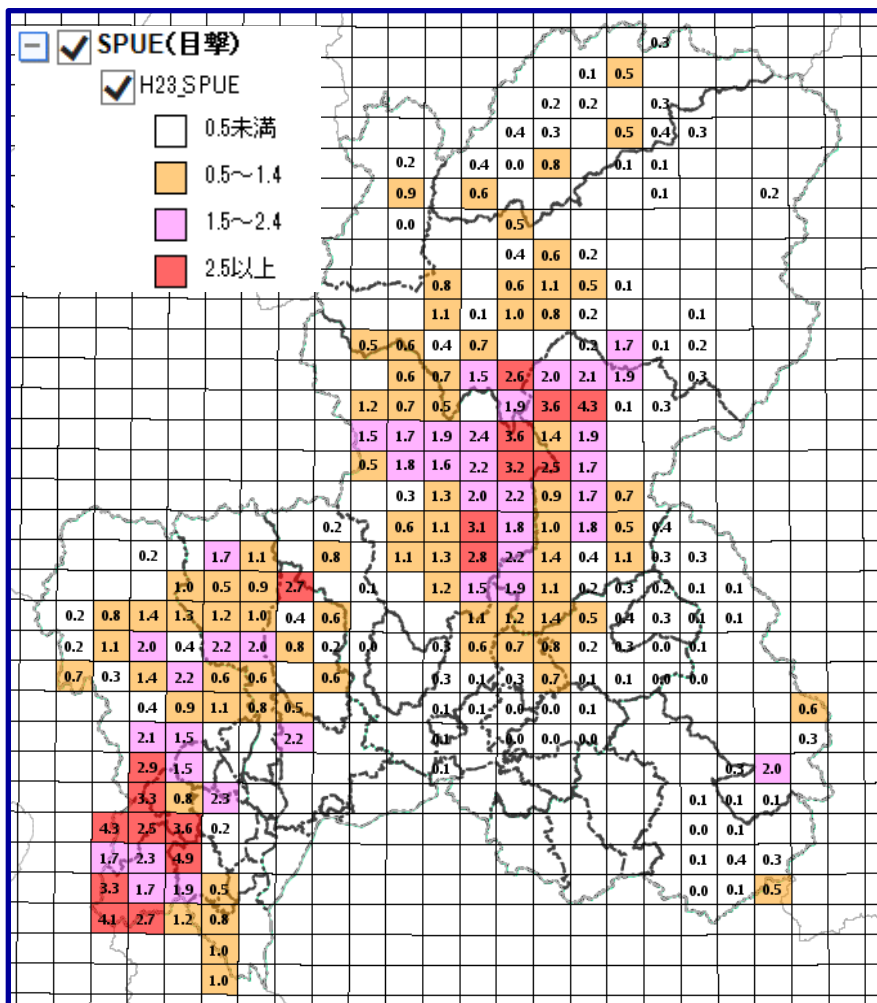
【例】ニホンジカ目撃効率データ変化の分析

重点的に対策を行う 地域の特定に活用

【H23目撃効率】既存の単年度データ



【H20年→H23年の比較図を作成】



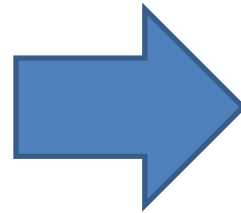
※[目撃効率 (SPUE) : 目撃頭数 / 出猟人日数]¹⁵

(※狩猟者登録数[第一種]H20:2,459人→H23:1,869人)

効率的な捕獲方法の試行（1）

シカの行動パターンを分析し、くくりわなを使って捕獲効率を上げる

箱わな・囲いわな	くくりわな		本手法
× 高価	◎ 安価	購入費用	◎ 安価
◎ 容易	× 困難	捕獲難易度	◎ 容易
△ 低い	◎ 高い	移動性	◎ 高い
× 高い	◎ 低い	警戒心	◎ 低い
× 困難	- 不明	連続捕獲	◎ 容易



効率的な捕獲方法の試行（2）



【手順】

- ①自動撮影カメラにてシカの生息を確認
- ②確認場所の付近で誘導体(倒木)を見つける
- ③誘導体上部の中央に米ぬか(約500 ml)を撒き、シカを誘引
- ④十分に誘引された後、常に前肢を置く場所を映像にて確認
- ⑤前肢を置く場所にわなを設置

【調査地】

本巢市内

(A)農地に隣接する森林内

(B)森林に隣接する草地

誘引餌:米ぬか

誘導体:直径約15 cm、
約2 mの倒木



【結果】A点で2日連続、B点で3日連続の捕獲

場所	罾数	設置日	捕獲	性	齢	捕獲効率	わな作動までの時間	誘引日数
A	1	1月29日	×	-	-	0.75	5分59秒	6
		1月30日	○	♀	0.5		23秒	7
		1月31日	○	♂	≥2.5		20秒	8
		2月1日	○	♀	≥2.5		39秒	9
B	1	2月22日	○	♀	1.5	1.00	7分03秒	5
		2月23日	○	♂	≥2.5		7分51秒	6

＜参考＞一般的なくくりわなの捕獲効率 約**0.03**(環境省資料)

○今後さらに調査点を増やし、有効性を実証する。
○県としても、講習会で伝達予定。

シカによる森林被害の調査手法に関する研究（1）

ニホンジカが森林植生に与えている影響のパターンに着目し、森林被害の度合いを把握するとともにニホンジカの生息状況の推定に利用することを研究。これまでに西濃圏域で実施。

被害小：低木やササが繁茂



被害中：ササの衰退



被害大：ディアライン形成



シカの食害により形成される森林の中の線

シカの口が届く範囲の植物が全て食べられた状態

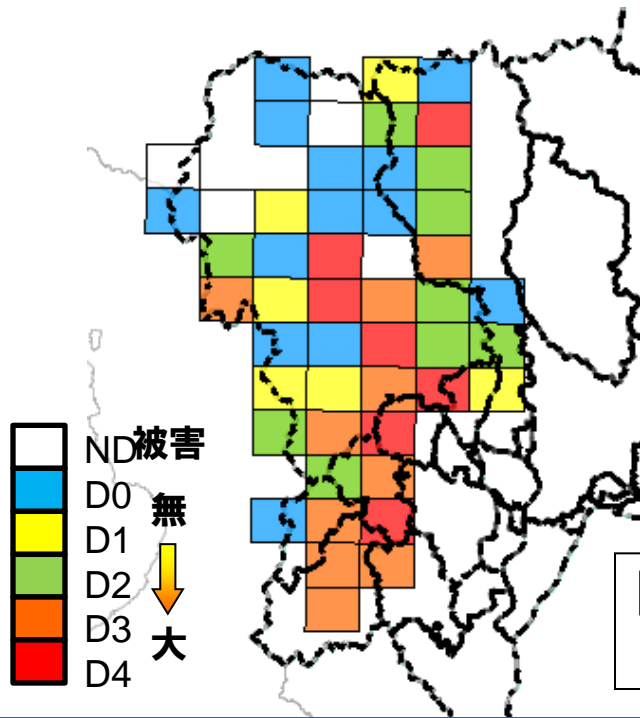
被害大：シカが好まない植物優占



シカによる森林被害の調査手法に関する研究（2）

■ 食害による下層植生衰退度を指標とする

- ・「ササが地表を占める割合」
 - ・「高さ1~3mの植物が地表を占める割合」
- 2項目を%で点数化し、5段階(D0~D4)に区分



【西濃圏域での調査結果】

※広い範囲で森林被害が進行中

■ 他の典型的な被害との比較

ニホンジカの被害の典型例と比較

- ・樹皮剥ぎによる樹木の衰退度
- ・ディアラインの形成状況
- ・落ち葉の層の減少度合い
- ・地表がむき出しになり侵食されている状況



統計的に有意な
相関関係が認められた

樹皮剥ぎの被害



揖斐郡池田町地内

○調査項目を2項目に限定し、指標化することにより、迅速に判定可能

○今後、現地での判断や、生息調査を補完することに活用

○平成26年度は、全県調査を行う予定